

令和3年度		重点目標「みんなが笑顔」になる学校」					
本年度の経営方針		笑顔になるために		○学習理解 ○人間関係 ○学校生活 ○信頼関係		勉強が分かる、おもしろい子どもが感じられる授業の追求 先生・友達とい関係をつくることが出来る活動・指導の在り方 充実感・うるおいがあると感じられる学校生活を送ることが出来るような関わり、取組み 学校と保護者・地域と連携をし、一緒に子どもを育てていく、見守る。	
評価にあたって 「達成状況」を以下のように4段階で評価した ものです。 A:充分達成した B:ほぼ達成した C:あまり達成していない D:全く達成していない						学校関係者評価	
具体的な評価項目		改善の方策 ○成果 ●課題・今後に向けて				自己評価 の適切さ	改善策の 適切さ
①	【重点目標】丘珠小は、「みんなが笑顔」でいられる学校となっているか。	B	○児童アンケートでは96%、保護者アンケートでも93%を超える結果となり、コロナ禍で、できる限りの環境作りを行っている成果が表れていると考える。 ○また、小規模校ならではの、教職員全員が多くの子どものことを理解し、気にかけることのできるよさが表れていると考える。 ●校務組織については、新しくなった組織の構成にまだ慣れないこともあり、教職員の業務の偏りや負担、コミュニケーションをとる時間の確保を含めた、スムーズな意思決定の在り方についてが、多くの教職員から課題として挙げられた。 次年度は、今年度と会議のもち方を変えるなど、すでに改善の方向で動いている。			B	A
	○学校づくりの重点の具体化に向けての教育課程の編成や教育活動が推進されているか。						
	○学年経営は、重点をもとにした推進が図られているか。						
	○学校組織や校務分掌を通して効果的の学校運営が進められているか。						
	○子どもは学校が楽しいと思っているか。						
学校関係者評価委員による意見		・コロナ禍でありながらも、児童や保護者アンケートで90%以上の結果が得られている状況は評価できると考えます。 ・コロナ禍においても、楽しく学校生活が送れている児童が多いと感じます。					
②	【学び】丘珠小は、子どもの実態をとらえ、何のためにどのような手立てをとるのか考えて実践しているか。	B	○授業研究にも力を入れ、その結果を子どもたちに還元できている。 ○一人一台端末の活用が本格化してきている。子どもたちにも浸透し、教職員も授業での活用の幅を広げている。 ●児童の評価（79%）が思ったよりも高くないので、教職員からのアンケートに記された「子どもに付けたい力」とともに「できるようになった」と感じられる取組を考えていく。			B	A
	○新指導要領全面実施にむけて計画的に推進されているか。						
	○学ぶ力育成プログラムの推進がなされているか。						
	○子どもが話したくなる環境づくりを行っているか。						
	○伝えたいことが生まれるような教材化や学習展開となっているか。						
学校関係者評価委員による意見		・ICT活用については、今後とも広げていく必要があると思います。また、その活用のしかたについて、小中で確認し合える場があるとさらに幅が広がると考えます。 ・児童会館でのオンラインの端末使用の運用など協力できて良かったと思います。					
③	【豊かな心の育成】丘珠小は、お互いを認め合い、協働を大切にする指導を行っているか。	B	○教員と保護者の評価は、中間よりも年度末の方が高く評価されている。子どもたちの心を育成する姿勢が、教職員と保護者の間で共有化されていると感じる。 ○また、学校生活の生活習慣については、高学年を中心に身に付いていることを感じる機会が多い。 ●しかし、児童の評価を見てみると、数値としては高いが、中間評価よりも下がっている。このコロナ禍で、他の学年との認め合い、協働という面が少なくなっていたので、次年度は、子どもたちがお互いに認め合い、自己肯定感を高めていけるような取り組みを増やす方向で検討している。			A	A
	○児童がすすんで生活習慣を身に付けていくような指導をすることができたか。（あいさつ・廊下歩行・返事・掃除・後片付けなど）						
	○命を大切にする指導、いじめ問題への取組を推進したか。						
	○考え・議論する、道徳科の計画的実践を行ったか。						
	○児童の自己肯定感が高まる関わりや環境づくりに努めたか。						
学校関係者評価委員による意見		・豊かな心の育成は、学校だけでできるものではありません。保護者や地域と連携・協力のもと育てていけるといいます。 ・他者への関わりや生活習慣等、児童会館でも連携して身に付くよう協力していきたいです。 ・よく指導しよく評価されていると思います。 ・コロナの中で他の学年学級とのつながりが希薄になりがちですが、よく児童を見て指導されていると思います。					
④	【健やかな体の育成】丘珠小は、グラウンドで思いっきり遊ぶ子どもや自分の健康や食に関心をもつような指導を行っているか。	A	○体育の研究授業を行うなど、授業改善のための手立てを講じ、教職員で意識を共有することができた。 ●体力づくりで継続しているものについて（縄跳び等）も、子どもたちの伸びが見え、意欲が高まるような形で改善を検討している。			A	A
	○「健やかな体」育成プログラムの推進がなされているか。						
	○食指導や性に関する指導などを通して、自分の健康への意識が高まったか。						
	○体力向上を目指した継続的取組を行ったか。						
学校関係者評価委員による意見		・コロナ禍でなかなか難しい課題です。子どもたちが楽しみながら継続できる取組の工夫改善が必要だと思います。					

⑤	【読書】丘珠小は、朝読書に集中する子どもと、楽しく読書ができる環境づくりを行っているか。 ○子どもは朝読書や読み聞かせなどの開放図書館の活動を通して、読書が好きになってきているか。	B	○感染症対策を行ったうえで読書活動を行うことができた。 ・開放司書さんのおすすめセットをつくり、学級での読書に活用した。 ・図書室内での感染症対策を万全にし、休み時間に図書館を活用できるようにした。 ●本に親しむための機会を少しでも多くもつことができるように、学習での活用機会を増やすための方策を検討していく。	B	A
学校関係者評価委員による意見		・読書は環境と習慣だと思います。いろいろな形で本に触れることで読書の習慣が身に付いていくと考えますので、引き続き読書に関する活動をお願いします。 ・協力体制ができており良いと思います。 ・読書の習慣が身に付く事はとても良いことです。			
⑥	【安心・安全】丘珠小は、安全にかかわる訓練を適切に行ったり、安心・安全にかかわる情報を迅速に提供したりして、子どもを守ることができたか。 ○安全にかかわる訓練の実施・情報の提供がなされているか。	A	○登下校中のことや放課後のことなどは随時、全校児童に対し指導を行っている。 ○今年度は大きな災害を想定した、保護者引き取り訓練を行った。 ○避難訓練は、事前事後指導も含め、しっかりと行うことができています。 ●教員も動くことができないような、想定以上のことが起きているので（熊、大雪での休校 など）安全に関して、保護者が安全を判断する必要がある場合の周知と、子どもたちが自分で身を守る行動がとれるような指導（建物への緊急避難等）について、今後考えていく必要がある。	A	A
学校関係者評価委員による意見		・今年度の出来事を踏まえた安全対策も必要になると思います。※熊・鹿・大雪など ・今後も引き続き連絡を取り合って、児童の安全の確保に努めていきたいと思っています。			
⑦	【地域】丘珠小は、地域との交流から学ぶ子どもと、それを支える地域との信頼関係を構築できているか。 ○地域と連携した開かれた学校の推進に努めたか。 ○地域を理解するために、地域の特性を生かした教育の充実を図るよう努めたか。	B	○今までつながりのあった地域の施設などと、今の現状でも出来ることを相談しながら、出来ることを進めている。 ●コロナ禍で、人と直接会っての交流はまだ難しい状況にある。新たな形でできることを考え、地域の方や施設とのつながりを継続していきたい。 ●各学年のカリキュラムの中に、丘珠の特色や歴史、丘珠ならではの素材や地域を知ることや愛着につながる内容の学習を一つは盛り込んでいくことを検討し、丘珠小の学習の新たな特色とできるように計画をしていきたい。	B	A
学校関係者評価委員による意見		・コロナ禍で、いろいろな活動の制限がある中、いろいろ工夫されて行事等実施されたことだと思います。お疲れ様でした。 ・地域の施設として協力していきたいと思っています。 ・よい取り組みです。			
⑧	【情報公開】丘珠小は、学校の経営方針や考え方を丁寧に説明し、地域や保護者の声に耳を傾け、常に改善に取り組んできたか。 ○学校HP・説明会・懇談会など教育内容や教育方針を発信しているか。	B	○感染症対策した上で実施可能かどうかを考え、学習発表会、教育相談（個人懇談）などの行事を行うことができた。また、ホームページをほぼ毎日更新し、小学校の様子を伝えるようにしている。 ●感染対策をした上での参観を何度も計画したが、まん延防止等措置により、行うことが難しい状況であった。配信での参観なども検討していく。	B	A
学校関係者評価委員による意見		・コロナ禍での情報発信はとても重要なことです。引き続き工夫された情報発信を期待しています。 ・地域の畑を借り上げてJA等の協力を得て、特産玉葱を生産し流通まで学ぶ等、大変好ましいと考える。 ・学習発表会を参観させて頂き、いつもと違う子どもたちの姿を知ることができ参考になりました。 ・今後も継続してほしい。			
⑨	【信頼】丘珠小の職員は、子ども理解に努め、親身に相談にのることができたか。 ○一人ひとりの子どもを理解し、トラブルや悩みに適切に対応し、間違っただ行動に対しては適切な指導を行っているか。	A	○それぞれの教職員がそれぞれのやり方で親身になり、指導にあたっている。教職員間で連携をとるために、全員で児童の情報を共有する機会や、子どもたちの現状と求める姿などについて話し合う機会を設けた。 ●次年度も一人一人の対応に気を付けながら、そろえて指導した方がよいこと、子どもを育てる視点について、共通意識をもつことができるようにしていく。	B	A
学校関係者評価委員による意見		・子どもの理解はとても大切なことですので、いろいろな情報を先生方で共有し、たくさん目で見守ってください。 ・円滑な運営をすることができました。 ・よい取り組みだと思います。子どもを大切に今後も継続してください。			